

天然ガスパイプラインの建設計画について

平成 12 年 01 月 25 日

帝国石油株式会社

帝国石油株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：磯野 啓）は、青梅ガス株式会社（本社：東京都青梅市、社長：中村 信吾）及び入間ガス株式会社（本社：埼玉県入間市、社長：中澤 孝芳）と、両社の供給ガス高カロリー化のための天然ガス供給について協議を重ねてまいりましたが、今般、基本的な合意に達し、従来から当社「東京ライン」を通じて卸供給を行っている武州ガス株式会社（本社：埼玉県川越市、社長：原 宏）の協力を得るとともに、埼玉県日高市から東京都青梅市に至る新たな天然ガスパイプラインの建設を決定いたしました。

当社は、国内最大規模の天然ガス田である「南長岡ガス田」の豊富な埋蔵量と併せ、現在建設中の「新東京ライン」（新潟県中頸城郡頸城村から長野県軽井沢町まで総延長約 140km）の完成により供給基盤が一層強固になりますことから、新たな需要家への供給のため、平成 10 年 11 月には「松本ライン」、さらに平成 11 年 7 月には「甲府ライン」の建設を決定いたしました。

今回計画した新パイプライン「入間ライン」も、こうした供給能力の増強を背景として、地球環境に優しい天然ガスの一層の利用促進を目指すものです。

「入間ライン」は、日高市地内より青梅市地内までの約 25km を管径 300mm で、平成 14 年春頃の完成を目指して建設する予定で、両社への天然ガス供給開始は、青梅ガスが平成 14 年 9 月、入間ガスが平成 15 年 5 月を予定しております。

入間ライン工事計画概要

1. ライン名称 : 入間ライン
2. 延長 : 約 25km
3. 管径 : 300mm (12 インチ)
4. 設計圧力 : 50kg/cm²
5. 工事区間 : 埼玉県日高市～東京都青梅市
6. 工事期間 : 平成 12 年 (秋) ～平成 14 年 (春)
7. 総建設費 : 約 40 億円

以上

入間ラインルート図

